

研究課題：脂肪肝症例における逆流性食道炎のリスク因子の検討。

研究責任者：国保中央病院 内科 竹田 幸祐、吉川 雅章

研究目的：逆流性食道炎の頻度は日本や欧米などの先進国では1970～1990年代頃から急激に増加し、経済成長の著しい発展途上国においても近年増加傾向にある。本邦においては肥満を背景に食習慣や生活様式の欧米化に伴う生活習慣病を合併した Metabolic Syndrome (以下、MS と略) の増加が心血管系疾患などの様々な疾患に繋がることから健康対策上の大きな問題となっている。MS に合併する逆流性食道炎の有病率が高いことが報告されるようになってきた。そこでMS に高頻度に合併する脂肪肝症例と逆流性食道炎との関連性を検討するために当院で腹部エコー、上部消化管内視鏡検査を施行した症例を対象として後方視的に背景因子、動脈硬化因子、肝線維化因子などを検討した。

研究概要：当院で腹部エコー、上部消化管内視鏡検査を施行した方のカルテの確認を行い、脂肪肝と逆流性食道炎の関連性を検討するために、背景因子、動脈硬化の程度、肝線維化などについて調査します。

電子カルテに対象となる患者さま：2023年8月1日～2025年12月31日の間に当院にて腹部エコー検査、上部消化管内視鏡検査を施行した方を対象とします。

本研究の適応性について：

患者さまのデータは匿名化され、その情報も厳重に保管されますので、個人情報が公表される事は一切ありません。また得られたデータを本研究の目的意外に使用する事もあります。なお、本研究は国保中央病院の倫理委員会で承認を受けており、調査期間は2026年12月31日まで、解析期間は2027年12月31日までです。情報は研究終了後5年間保存し、その後破棄します。研究の資金源等に関する利益相反はありません。この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

研究への参加辞退をご希望の場合：

これらの研究において、ご自身の提供された情報等について問い合わせたい、もしくは利用を拒否したいなどの場合には下記にご連絡ください。

2026年3月

お問い合わせ先： 国保中央病院 内科

研究責任者： 竹田 幸祐

電話番号： 0744-32-8800